



鼓童の歴史
1955年～



宮本常一 (民俗学者)

忘れられた日本人

宮本常一著

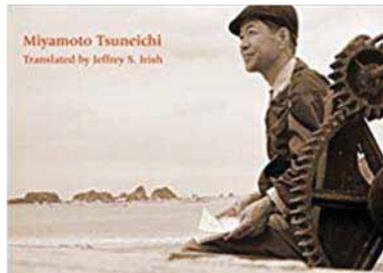


昭和14年
以来、日
本全国を
くまなく
歩き、各
地の民間

伝承を究明に調査した著者(1907-81)が、
文化を築き支えてきた伝承者—老人達がど
のような環境に生きてきたかを、古老たち
自身の語るライフヒストリーをまじえて生
き生きと描く。辺境の地で黙々と生きる日
本人の存在を歴史の舞台にうかがあがらせ
た宮本民俗学の代表作。(解説・網野善彦)



青 164.1
岩波文庫

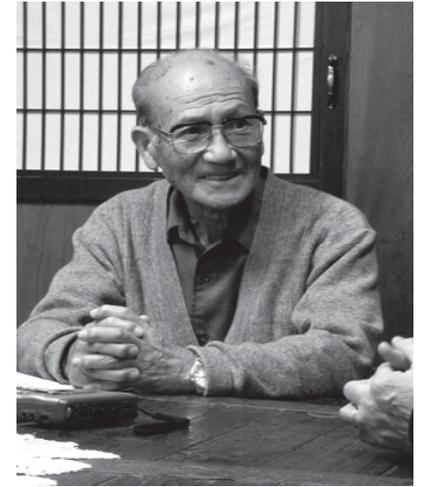


The Forgotten Japanese

Encounters with Rural Life and Folklore



田耕
(鬼太鼓座創設時代表)



本間雅彦
(当時佐渡農業高校教諭)



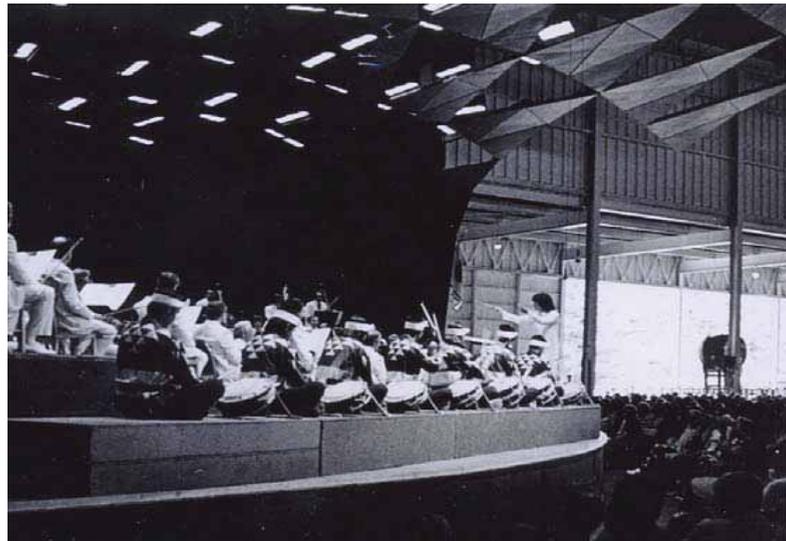
1970年 鬼太鼓座夏期学校



1975年
ボストンマラソン



1975年 佐渡の國鬼太鼓座、ボストンマラソン完走後大太鼓を打ち鳴らす



1976年 石井眞木作曲モノブリズム（世界初演）小澤征爾指揮、ボストン交響楽団



1974年
新潟日報

日本海大学構想

- (今の佐渡は) 生活の上でも文化の上でも、都会におくれまいとする。そういう生活ではなく、自前の文化を大切にし、自分たちの生活を大切に、向上させていくような生き方はたてられないものか。そういうことについて、住民が集まって考え、工夫し、研究してみる機会を作ってみようではないか。
- 日本海大学というのは、これまでの大学のように、単に新潟にある大学、佐渡にある大学というのではなく、日本海を研究し、そこをどのように開発し、その地域の文化をどのように高めてゆくかについて学び、その作業に参画することを目的にする念願を持っている大学である。それを佐渡のみの問題でなく、日本海沿岸住民の問題としてとらえていく。
- 大学のあるかぎり地域社会に累積する問題解決と新しい未来を創造することにエネルギーが集中されるはずだからである。
- これには、また島を愛する島外人の知識も参画する必要がある、その窓口も大きく開けられなければならない。

根をおろすことを考えようや！

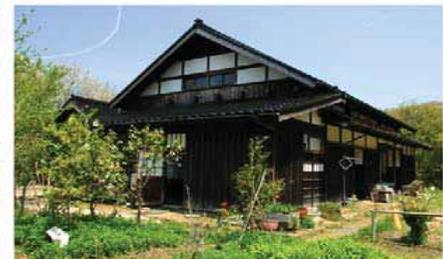
- やってきた人たちのたまり場になるような。
- いろんな芸が見られるとか、資料の展示があるとか、それに自分たちも何かできるような「場」を持てるようにしようじゃないか。
- そういうことからスタートしていったら、おもしろいものができはしないだろうか。そんな気がするんだがね。
- 「体験」の場としての佐渡っていうものを固めていきゃあいいんじゃないか。一つの塾なり、学校なりへ成長していく。

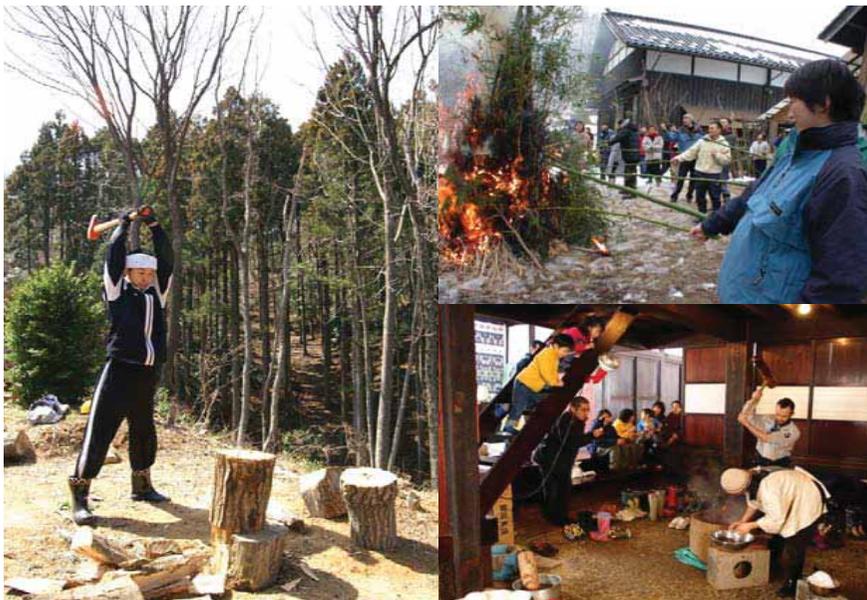
国際性を持つ

- これから先、ほんとに国際性を持つてくるには、外国の文化を受け入れるような素地を国の中へ作っていかなくゃならないんじゃないか。
- その場っていうのはどういうものだろうかって言ったら、つまり外国の人たちがやってきて、安んじておられる場所だろう。
- 向こうの習俗すてないで、日本人の生活の中に入り込み、ともに生活できるような場があったかっていうと、ないだろう。
- これが、やはり、君たちのやらなくゃならん仕事のひとつだ。

地域のエネルギーが 国を生き生きとさせる

- 僕の夢は地域主義なんだよ。百姓のせがれだったからね。地域社会が充実してくると、世の中にぎやかになるんだね。
- 今は、完全な中央集権時代。もういっぺん地方が中央に向かって、反乱をおこさなくゃいけないと思うんだ。世の中が変わってゆくのは、いつも、田舎侍が町に向かって反乱を起こすことなんだよね。それを忘れちゃいかんと思う。
- 田舎にはそういったエネルギーが、まだまだあるように思うんだがね。それが無くなったらね、国っていうのは滅びるんだろう。

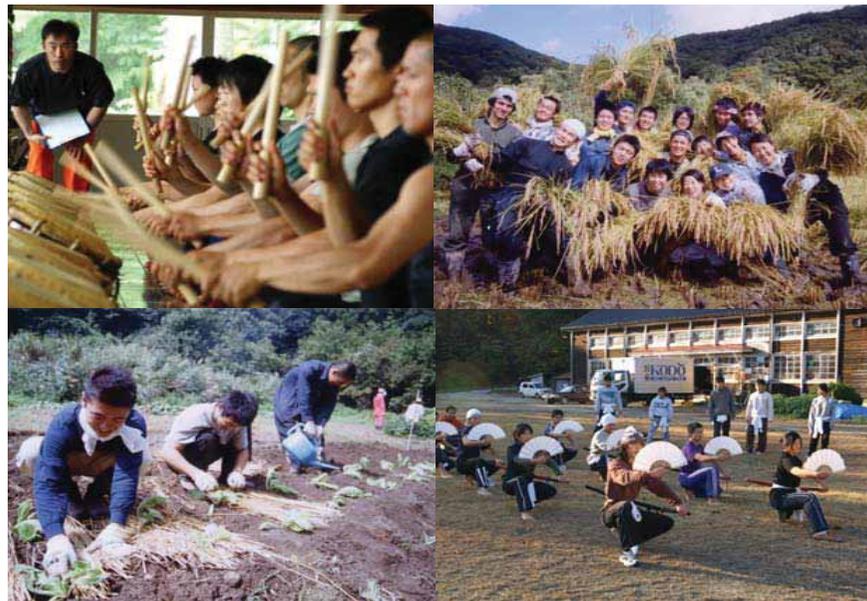




1997年
鼓童文化財団設立



鼓童文化財団研修所



角材から締め太鼓用のバチを作る



締め上げ（締め太鼓のチューニング）



朝のランニング



毎朝の掃除の雑巾がけ



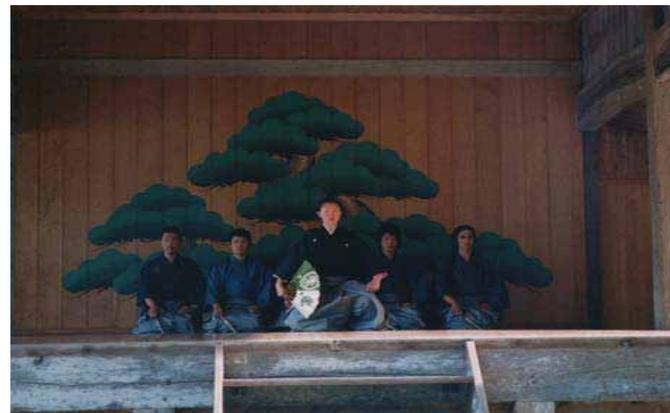
食事は当番制





茶道

能

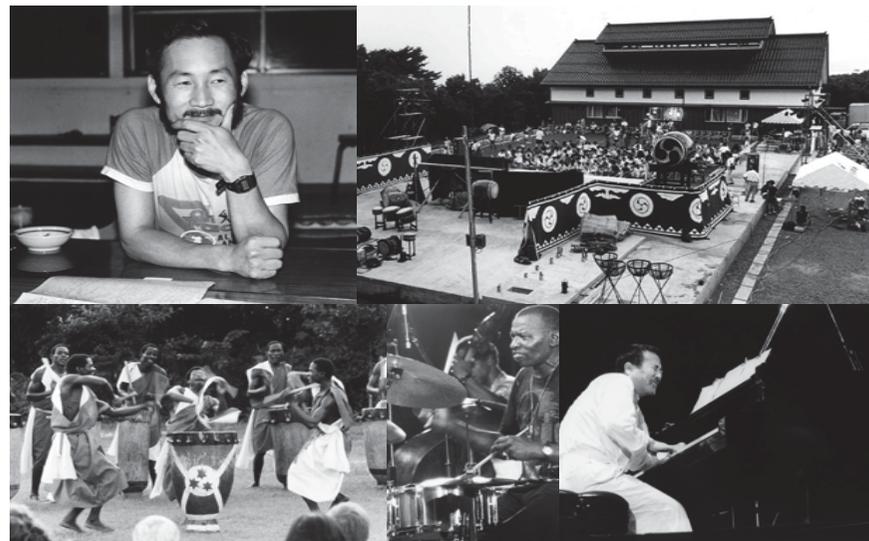


魚のさばき方





「いただきます」 自分の身体に入るすべての命と、それに関わったすべての人に感謝

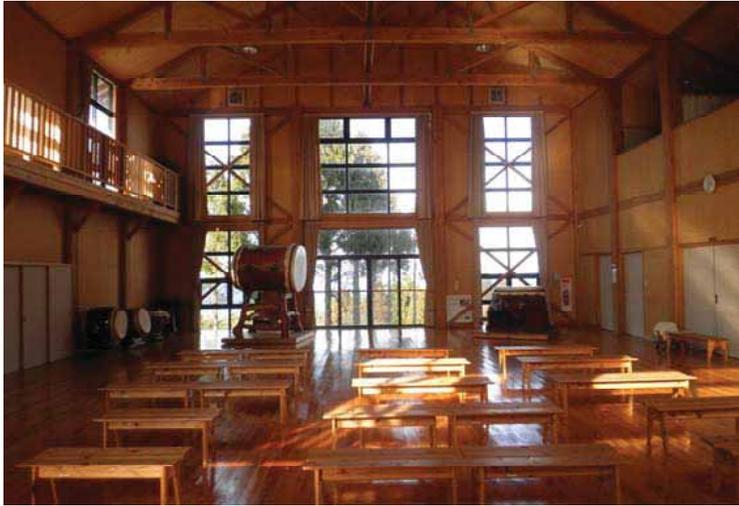


1988 鼓童村開村、第一回アース・セレブレーション開催

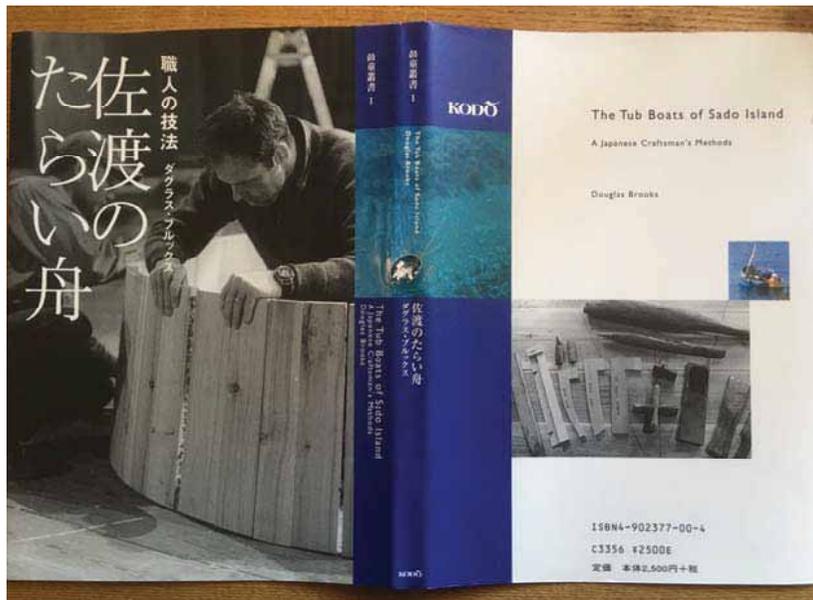




2007年 佐渡太鼓体験交流館運営開始













エクサドン

Home | エクサドンとは | 新着情報 | エクサドンファシリテーター育成講座 | お問い合わせ



未来の笑顔のためにできること。

エクサドンは、
「エクササイズ（運動）」+「佐渡」+「ドン（太鼓の音）」を合わせた造語で、
鼓童文化財団と森本芳典氏の共同登録商標です。
2014年2月より、太鼓と芸能を愉しむ心と身体活動を中心とした
健康増進、介護予防フィットネス・プログラムとして開始されました。

<https://www.youtube.com/watch?v=wQ7MYQhs09Y>

事業内容：

実証研究：

- ・ 体力面、認知機能面で、有意差を持って向上について検証
- ・ 心理検査を実施し、ストレス状態を含む気分状態、活動意欲、自己統制力、自己肯定感等の向上について検証

実証研究委託先：

千葉大学大学院 社会科学研究院
公共研究センター長 ・ 公共哲学センター長
日本ポジティブサイコロジー医学会理事
小林正弥教授グループ

研究方式

- ・ A群：高齢者
- ・ B群：一般（和太鼓経験者と非経験者）
- ・ C群：対照群（A・Bそれぞれに）
- ・ エクサドンの介入実験による実証研究。
- ・ A群とB群とを合わせることによって、被験者数を増やす。



ポジティブ心理学

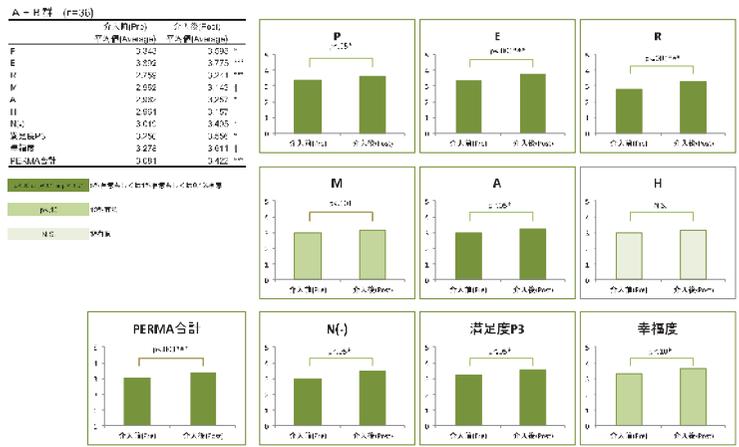
•ポジティブな感情とは：
 楽観主義、快楽、社交性、陽気さ、楽しみ、満足感、希望

PERMA指標

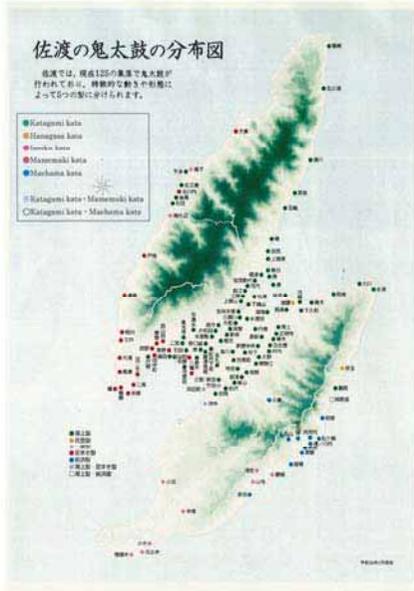
- P = (Positive Emotion) 能動的な感情
- E = (Engagement) 没頭すること
- R = (Relationship) 人間関係によって励まされる
- M = (Meaning and Purpose) 行動することの意味や意義を考える
- A = (Achievement) 達成の継続が幸せの秘訣



A=512 PERMA 前後平均



※このデータは平均値を示しています。個人ごとの結果は異なります。





東京23区 (622平方km・9,233,460人)

佐渡 (856平方km・57,450人)

面積 東京÷佐渡 = 0.72倍

人口 東京÷佐渡 = 160倍

佐渡人口 57,450人 ÷ 佐渡集落数270 = 集落平均213人

(コミュニティが強固)

東京23区人口 9,233,460人 ÷ 集落平均213人 = 東京集落数43,303

(コミュニティが希薄)